

2026年4月1日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「低置胎盤の上方移動（migration）症例における 出血関連合併症の検討」への協力をお願い

産婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016年1月1日～2025年12月31日の間に、当科において、妊娠中に「低置胎盤」と診断され、その後に胎盤の位置が上に移動(migration)した方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028年12月31日

研究目的・利用方法：

この研究は、妊娠中に「低置胎盤」と診断され、その後に胎盤の位置が上に移動(migration)した方を対象に、分娩時の出血や産後の出血がどのような場合に起こりやすいかを調べることを目的としています。低置胎盤は、妊娠の経過とともに自然に改善することが多いとされていますが、胎盤の位置が上に移動した後でも、分娩時に出血が多くなる方が一定数おられます。本研究により、どのような経過や超音波検査の所見をもつ方で出血のリスクが高くなるのかを明らかにすることで、今後の妊娠・分娩管理をより安全に行うための参考になることが期待されます。

研究に用いる情報の項目：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

- ・年齢、分娩歴、分娩様式（経膈／帝王切開）、ARTの有無
- ・分娩週数、分娩時出血量、産後1・2時間の出血量、輸血の有無、警告出血の有無
- ・超音波所見：妊娠中期の低置胎盤診断、migration時期（妊娠週数）、migration時頸管長、最終時点の胎盤から内子宮口の距離、胎盤付着位置、子宮体下部の血管増生の有無、辺縁静脈洞の有無

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2026年4月3日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科

氏名：志賀 友美

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科

電話番号：058-230-6349

氏名：志賀 友美

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@t.gifu-u.ac.jp